

天理教 江南支部だより

発行先 江南支部
発行日 立教188年4月1日
発行責任者 九里正昭
発行住所 甲賀町神1750番地の1
4月号 N0297

新任あいさつ

新支部長 九里正昭



日頃は支部活動の上にご理解、ご協力下さいまして誠にありがとうございます。

この度、江南支部役員改選（三年任期）にあたり、支部長をつとめさせて頂くことになりました九里正昭です。

今、おみちの動きは、立教一八五年十月二十六日、御本部でつとめられました秋季大祭の後、真柱様より諭達第四号が發布され、教祖一四〇年祭に向かう三年千日が始まりました。

おさしづに、

「さあ／＼これまで住んで居る。何処へも行ってはせんで／＼」
（明治二十三・三・十七）

「存命々々と言うであろう。存命でありやこそ日々働きという。」
（明治二十九・二・四）

「影は見えぬけど、働きの理が見えてある。」

（明治四〇・五・一七）

と仰せ下さいますように、教祖はお姿こそ隠されましたが、魂は元の屋敷におとどまり下さり、今なおご存命で、世界たすけの上にお働き下されているのであります。

その教祖にお喜び頂けるよう通らせて頂く中に、二年が過ぎ去り早くも本年は三年目になりました。

この間、自然災害など大きな節をお見せ頂き、各々が胸に感ずるところがある事と存じます。

その思いを忘れずに残された年祭活動を通らせて頂きたいと思ひます。また、この大切な旬に支部長という大役をつとめさせて頂くことになり、改めて身の引き締まる思ひです。

何分、若輩者で多々ご迷惑かける事があると思ひますが、皆様の大きな心で支えて頂き、お力添えを賜りますよう重ねてお願い申しあげます。

退任あいさつ

前支部長 福西 努



令和4年の4月より3年間、支部の役職の皆様をはじめ支管管内の皆様のお陰で無事つとめさせて頂きましたこと、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

今期は教祖百四十年祭に向かう三年千日という大切な旬であり、お打ち出し頂いた「ようぼく一斉活動日」一点に集中し、活動を進めさせて頂きました。いかにして管内ようぼくに勇んで頂くかを練り合い、『元の理』『おつとめ』『おさづけ』をテーマに3回開催し、お陰様で多くの方にご参加頂きました。ここに改めて御礼申し上げますと共に、あと2回、参加者の皆様に『元氣』を持ち帰って頂けるようにとの思ひで計画しておりますので、三年千日の仕上げの年にふさわしい一斉活動日となるよう皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

「論達は、全教が心をそろえて年祭に向かつて歩むために出したもの」さらに一手一つとは「一つの目的に向かつてそれぞれが自分の与えられた立場のつとめをしつかり果たすことによってご守護頂ける姿ということが出来る」一手一つになるためには「まず一人ひとりが教祖の思し召しに心を合わせることである」とお示しく下さいました。今の世界情勢は論達にお示し頂くように「他者への思いやりを欠いた自己主張や、刹那的行動」にあふれています。

それは私達一人ひとりにも言える事かもしれません。私自身も何か心のブレーキが緩くなっているような気がします。

正(しい)という字は、一を書いて止まると書きます。一度立ち止まり、教祖から教えて頂いた心の定規を当ててみましょう。きっと正しい答えが出てくるはずですよ。

そして一人ひとりの波は小さくてもみんなの心が一つになれば、大きなうねりが生まれます。真柱様はこのことをお望み下されているのだと思います。これからも皆様と共に一手一つに活動を進めさせて頂きたいと思えますので、よろしくお願い致します。



朝の信仰読本 中山慶純著

人生を共に歩むノートを作ろう

みなさんは、日記を付ける習慣がありますか？

何年、何十年と日記を書き続けている人には、夢を叶えて、充実した人生を送っている人が多いと聞いたことがあります。一日の出来事だけでなく、そのとき感じたことなども記録することで、新たな発見や気づきが得られ、自分を高めていけるからでしょう。

一方、未来に起きてほしい事柄を過去形で綴る「未来日記」で、夢を実現させた人もいます。二〇一二年ロンドン五輪に出場したプロボクサーの村田諒太さんは、ほぼ毎日「念願の金メダルが取れました！ありがとうございます」と書き続け、見事に金メダルを獲得しました。毎日の練習の前にも「きょうは〇〇ができた」と課題を書くことで、本当にそれをクリアして、思い通りに体を動かすことができたそうです。

これらの話は、私たちお道の信仰者にも、大いに参考になるところがある

と思います。

そこで、私からの提案ですが、毎日の心の動きをノートに書いてみてはどうでしょうか。

人は大なり小なり、いろいろなことに思いを巡らせています。つまり、私たちの心は日々さまざまな心づかいを「経験」していると言えます。「こんなうれしいことがあった」という喜びの経験もあれば、「家族にきつく当たってしまった」といった後悔もあるでしょう。それを毎日書き出していくうちに、自分の癖性分(くせいしょうぶん)がはつきりと見えてきます。

見えてきたら、「明日は、この心づかいをしないように気をつけよう」「こういう言い方は人の心を傷つけてしまうから、早く直そう」といった目標も一緒に書いて、癖性分を取る努力をするのです。続けていくうちに、嫌なことや不都合なことが起きてても、以前より腹が立たなくなったり、良いように捉えられるようになったりして、心はぐんぐん成長していきます。

さらに、同じノートの裏側からは、ぜひ「おたすけの記録」を記してください。

さい。身近に身上や事情で悩んでいる人がいたら、いつから、どんなことに悩んでいるのかをノートに書き込み、それを持って教会へ参拝に行き、お願いさせていただきましょう。

「あの人も、この人も……」と願うなかで、「親神様にお働きいただけるように、自分の癖性を少しでもなくす努力をさせていたどころ」「人さまのたすかりのために、自分が変わろう」という気持ちにもなっていくはずです。

生きることは心を使うことです。このノートはきつと、人生を共に歩む良きパートナーとして、みなさんの心を支え続けてくれるものと思います。



立教188年 全教一斉
ひのきしんデー
4月29日
火祝

甲南組

甲南第一地域市民センター 4月29日 8:30~11:30

小雨決行、雨天順延

除草、草刈り、清掃

(社福) やまなみ工房 5月10日 9:00~11:30 雨天時屋内清掃

甲賀組

甲賀B&G海洋センター 4月29日 8:30~11:30 小雨決行、雨天順延

除草、草刈り、清掃

信楽組

(特養) 信楽荘 4月29日 8:30~11:00 雨天時屋内作業

除草、草刈り、清掃

紫香楽病院 6月8日 8:30~11:00 雨天中止 除草、草刈り、清掃

ようぼく一斉活動日 6月1日 (日)

教祖ご誕生祭 4月18日午前午前10時



すべての会員がおちばへ 人を誘っておちばへ

立教188年 / 2025年 4月19日 土

式典 午前9時30分
本部中庭 南・東礼拝場前 西境内地

おつとめ 式典に引き続いて
記念行事 支部の集い

別席強調月間

立教188年 / 2025年 3月1日 土 ▶ 4月30日 水

天理教婦人会

最新情報はこちらで
ご確認ください



4月支部にをいかけデー

4月28日午前9時より
拠点教会 南柚分教会

甲南町杉谷1124番地1
